

第一回足立区ギャラクシティ運営評価委員会議事録

会 議 名	第一回足立区ギャラクシティ運営評価委員会		
開催年月日	平成 28 年 3 月 22 日 (火)		
開催場所	こども未来創造館 3 階 多目的室 1		
開催時間	13 時 00 分開会 ~ 15 時 30 分閉会		
出欠状況	委員現在数	10 名	
	出席委員数	4 名	
出席者(敬称略)	出席	委員長	宮田 隆志 (東京大学大学院理学系研究科准教授)
		委員	池田 幸也 (常盤大学コミュニティ振興学部学部長)
	欠席	委員	井徳 正吾 (文教大学情報学部情報社会学科教授)
		委員	小森 伸一 (東京学芸大学教育学部健康スポーツ科学講座准教授)
		委員	伊志嶺 絵里子 (東京藝術大学音楽学部非常勤講師)
		委員	林 克彦 (石洞美術館学芸員兼事務局長)
		委員	田中 則聡 (足立区立小学校 P T A 連合会副会長)
		委員	大林 英夫 (足立区少年団体連合協議会副会長)
		委員	勝倉 秀一 (一般公募)
		委員	山崎 千枝 (一般公募)
事務局	子ども家庭部	部長	伊藤 良久
	子ども家庭部青少年課	課長	寺島 光大
	青少年課ギャラクシティ支援担当	係長	千ヶ崎 嘉彦
	青少年課ギャラクシティ支援担当		上野 兼司
	青少年課ギャラクシティ支援担当		照屋 良太
	青少年課青少年教育担当	係長	村上 長彦
	地域のちから推進部地域文化課	課長	浅見 信昭
	地域文化課文化団体支援係	係長	柿沼 節子
	地域文化課文化団体支援係		脇本 祥子

<p>会議次第</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 委嘱状交付 3. 子ども家庭部長挨拶 4. 委員紹介 5. これまでの経緯と施設の特徴 6. 運営評価委員会の活動目的とスケジュール 7. 施設見学 8. 事務連絡
<p>配布資料</p>	<p>資料1 次第</p> <p>資料2 ギャラクシティ運営評価委員会の活動目的とスケジュール</p> <p>資料3 ギャラクシティ指定管理者報奨制度の考え方【説明図】</p> <p>資料4 平成25年度・26年度事業 足立区ギャラクシティ運営評価委員会評価書</p> <p>資料5 平成26事業(平成27評価)ギャラクシティ運営評価委員意見に対する指定管理者からの回答</p> <p>資料6 ギャラクシティ施設案内パンフレット</p>

寺島課長	<p>< 1 . 開会 ></p> <p>本日の委員会の資料、次第を確認させていただく。本日は委嘱状交付、子ども家庭部長挨拶、各委員自己紹介を行っていただく。その後、ギャラクシティの沿革と施設の特徴について説明、運営評価委員会の活動目的とスケジュール、施設見学を行う。最後に第2回運営評価委員会の日程確認を行い、本日の委員会を終える予定である。まずは、足立区教育委員会子ども家庭部長より、皆様に委嘱状を交付させていただく。</p>
伊藤部長	<p>< 2 . 委嘱状交付 ></p> <p>(伊藤部長より各委員へ委嘱状を交付。)</p>
伊藤部長	<p>< 3 . 部長挨拶 ></p> <p>平成6年のギャラクシティ開館当初は、科学展示をメインとした施設としてオープンしたが、その後利用者数の減少に伴い、施設を有効活用するため、平成23年と24年にリニューアル工事を行い、平成25年度にリニューアルオープンした。最近では、メディアに取り上げられる機会も多く、区外からも多くの方にご利用いただいている施設である。足立区を代表する施設として、館のコンセプトでもある、「夢に出会い、夢に挑戦する」ことを、子どもたちに伝えていきたいと考えている。地域に根ざした施設として、より良い施設運営となるように、皆様から貴重なご意見をいただきたい。</p>
浅見課長	<p>< 4 . 自己紹介 ></p> <p>(各委員、事務局より自己紹介。)</p> <p>それでは、これより第1回運営評価委員会を開催させていただく。なお、本来であれば規定に基づき委員の皆様のご互選により委員長を選出し、議事を進行させていただくところですが、今回は事務局で進行させていただく。それでは、「ギャラクシティの沿革と施設の特徴」と「運営評価委員会の活動目的とスケジュール」について、ご説明させていただく。</p>
村上係長	<p>< 5 . ギャラクシティの沿革と施設の特徴 ></p> <p>(ギャラクシティ誕生とリニューアルの経緯について説明)</p>
千ヶ崎係長	<p>< 6 . 運営評価委員会の活動目的とスケジュール ></p> <p>(運営評価委員会の活動目的について説明)</p>
浅見課長	<p>それでは、ここまでご質問があればお願いしたい。無いようですので、この後は施設案内を</p>

	<p>開始させていただく。</p> <p>< 7 . 館内施設見学 ></p> <p>(館内案内及びまるちたいけんドーム投影)</p> <p>< 8 . 全体的な質疑応答 ></p>
浅見課長	それでは、全体を通して質疑があればお願いしたい。
林委員	活動スケジュールを拝見すると、5月に事業実績報告から始まるということは、前年度の結果を評価するところから始まるのか。
千ヶ崎係長	そうである。
林委員	そうであれば、資料があがってきたものを評価することになるのか。
千ヶ崎係長	全事業の資料があがってくる。平成27年4月から平成28年3月までの一年分が出てくることになる。
林委員	そうであれば、前委員の方が述べた意見について、現在の委員が見て判断することになるのか。
千ヶ崎係長	そうである。
村上係長	25年度の結果に対しては26年度に検討していただき、そのあがってきた評価を27年度に前委員に見てもらうことができたが、今回あがってきたものについては、委員の任期が2年ということもあり、それができていない。
林委員	我々の運営母体である公益法人の場合だと、事業年度が終わった段階で検証し、一サイクルが終わるとい仕組みを作っている。そのようなやり方だと前委員も良かったのではないかと思う。いきなり事業の結果を検証するというのは、責任が重大だと思う。最初の5月から7月は、前年度の結果を評価するというので良いのか。
千ヶ崎係長	そうである。
勝倉委員	活動スケジュールを確認すると、6月で評価作業方法の説明となっているが、これ以降に評価を始めて、次の7月の時点では、もう評価結果をまとめるということか。
千ヶ崎係長	5月に事業実績報告が出てきて、その結果について指定管理者に説明してもらうことになる。しかし、資料が膨大なため一度持ち帰ってもらい、その次の6月で質疑をしてもらう機会を

	設定している。その回答をふまえて事務局に評価書を提出していただき、7月にまとめた結果をお示することになる。
大林委員	平成26年度事業の指定管理者の回答を見ると、スペースあすれちっくで事故が集中しているとなっているが、保険についてはどうなっているのか。
千ヶ崎係長	指定管理者に支払っている運営委託料の中から、指定管理者が支払っている。
伊志嶺委員	西新井文化ホールとこども未来創造館の運営について、指定管理者の構成企業の中では、JTBが西新井文化ホールの事業を運営しているのか。
村上係長	西新井文化ホールの事業を企画構成しているのが、JTBである。
伊志嶺委員	西新井文化ホールとこども未来創造館の連携はあるのか。
村上係長	基本的には構成企業の3社でチームを組み、代表企業が丹青社という形を取っている。館長、こども体験事業の副館長、文化事業の副館長の形になっている。また、施設管理は日立ビルシステムが担っている。代表企業の丹青社が全体をまとめ、館長がトップに立ち運営をしている。
勝倉委員	館内で様々なイベントを実施しているが、イベントの企画はどこが行っているのか。
村上係長	指定管理者内で、文化事業についてはJTB、こども体験事業についてはこども体験チーム、まるちたいけんドーム事業についてはプラネタリアムチームが企画し、館長と副館長が全体を取りまとめている。
勝倉委員	どんなイベントをどれくらい実施するかについて、区は関与しているのか。
村上係長	毎年、区長に対して指定管理者が事業説明を行い、意見交換の場を設けて調整を行っている。また、年度途中であっても随時調整を行い、見直しを行っている。
	< 9 . 次回日程の確認 >
千ヶ崎係長	その他質問が無いようですので、次回の日程について確認させていただく。次回は5月20日(金)を予定している。それでは、本日の第1回運営評価委員会はこれにて終了させていただく。